

九州大学と JICA がタッグを組んだ国際地熱研修コース 今年は5か国10名の研修員が参加

2023 年本邦研修を再開した国際地熱研修コース「地熱資源エンジニア」は、好評に伴い、今年は5か国10名の研修員を招いて九州大学大学院工学研究院で実施されます。

地熱発電は天候や時間帯の影響を受けにくく、安定して発電できるベースロード電源になり得る環境に優しい国産のエネルギーであり、地熱資源を持つ国での開発が進められています。一方で開発リスクの高さから地熱資源開発が進まない国も多く、資金確保だけでなく人材育成が喫緊の課題となっています。

本コースは JICA 九州と連携して 2016 年に再始動しましたが、コロナ禍で 2020 年は中止となり、2021 年と 2022 年は6週間のオンライン講義のみの実施となりました。今年来日する研修員は各国で地熱資源開発を担う機関の技術者や政策策定の担当で、4か月の研修はプロジェクトスタディがメインとなり、自国から持参したテーマの研究を進め、研修終了時に研究成果の発表を行います。

本コースを開始するにあたり、今年も下記日程で開講式を行います。

＜地熱資源エンジニアコース 開講式＞

日時：8月21日（金）16:30-17:00

場所：九州大学工学部第一会議室（福岡市西区元岡 744 ウェスト 4 号館 420 号室）

マップ：https://www.kyushu-u.ac.jp/f/65722/IT0_1_Jp.pdf (No. 33)

コースリーダー（藤光教授）から ひとこと：

今年の研修参加者数は、昨年と同じく10名となりました。本コースの過去の修了生の中には、さらに専門性を高めて修士や博士の学位を取得するために、JICA の留学プログラムなどを活用して大学院生として再び九州大学で学んでいる方々も少なくありません。



昨年9月の研修旅行（大分）での一コマ。昨年度の研修旅行は4回に分けて行いました。研修員の皆様は、プロジェクトスタディのテーマだけでなく、日本の歴史や文化についても学習します。



藤光 康宏 教授

＜国際研修コース「地熱資源エンジニア」＞

九州大学では1970年から2001年まで36か国約400名の研修員を JICA 地熱研修コースで受入れてきました。2016年にこのコースを刷新して再始動しました。

■今年度研修参加国：5か国10名

ジブチ、エクアドル、エルサルバドル、エチオピア、タンザニア

■実施期間：2026年8月21日（金）～2026年12月11日（金）

取材について

開講式の取材をご希望の際は、事前申込は不要です。直接会場へお越しください。